



News Letter

2019 日本化粧品産業技術への探求の旅

2019/5/21

一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association

〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL : 81-78-381-5304 FAX : 81-78-303-3077

<http://www.cosmo-jc.org>

5月15日～5月17日の期間中に協会イベント「2019 日本化粧品産業技術への探求の旅」を組織した。このイベントは同期間中に横浜で開催された第9回化粧品産業技術展 CITE Japan2019 に合わせ、中国会員企業を日本へ招き、CITE Japan の見学を案内し、関連する日本企業への訪問を内容とするものであった。



5月15日、今年4月にニューオープンした資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK)を見学した。まず1階から入ってすぐに16Kの巨大スクリーンが目飛び込み、その映像のあまりのリアルさと美しさに、居合わせた全員が圧倒された。次は同じく1階にあるBeauty Barでは、お客様の肌に合わせた化粧品・乳液をオーダーメイドできる仕組みに皆がたいそう興味を示した。そして2階のS/Park Museumでは様々な美の展示や体験に触れ、とても興味深い経験ができたと皆は口々に言った。

左：資生堂グローバルイノベーションセンター

5月16日、いよいよ今回イベントの一大パーツであるCITE Japan2019へご案内した。今回は出展されている日本会員企業に絞り、予め出展内容の情報を集め、中国会員に紹介しながら展示会を回った。参加された中国企業には日本の原料商材を求めている企業も多く、皆が熱心に原料の紹介に耳を傾けた。

夜には日本化粧品関連企業との懇親会を横浜ベイホテル東急で開催した。この日は日中両業界より約80名の参加者が集まり、交流及び歓談を行った。



上：CITE Japan 見学の様子

左：懇親会会場



一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association

〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL : 81-78-381-5304 FAX : 81-78-303-3077

<http://www.cosmo-jc.org>

5月17日、午前中はピカソ美化学研究所のコスメパーク横浜ベイ(工場)へ訪問した。完全自動化を目指している中国化粧品工場からみて、幾度も人工によるチェックが入る日本工場、そして一人ひとり徹底的に手順通りに操作することがそのメイドインジャパンの品質の高さの源であることがわかった。そしてここでも日本の匠の精神を窺い知れると皆が感想を述べた。午後は再生・医療細胞の産業化拠点を目的に設立されたライフィノベーションセンターへ訪れた。ライフィノベーションセンターでは現在日本の再生医療の現状について紹介をして頂き、センターに入居しているダイダン株式会社のラボを見せて頂いた。参加者たちはこの分野が将来美容へ応用されることにたいそう関心を持ち、そして自分たちの代で外見も美しいままに年齢できることを夢見た。



上：ピカソ美化学研究所

右：ライフィノベーションセンター



イベントの終焉は風光明媚な江ノ島観光で飾った。晴れ渡った天気が功を奏し、澄んだ空と青い海を前に、参加者たちのカメラを押す手が止まらなかった。皆が日本化粧品産業技術の知識だけでなく、この美しい景色の思い出を中国へ持ち帰ることができることに喜んだ。

今回のイベントを通して、まず美は様々な要素から成り立ち、それに一役買っている化粧品産業も実に多種多様であり、そして一見関係がないかに見える業界からも実は協業する価値が大いにあることがわかった。今年後半には日中の化粧品企業に関連ある企業がよりマッチングできるイベントを考案している最中で、どうぞお楽しみに！